

例会報告 Rotary



奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 鴻野 幸泰
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 向井 公規
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 田邊 淳

第2651回例会 令和3年10月29日
CLPテーブルディスカッション

<会長の時間>

今現在、私の家の家業は自分の知る限りでは五代目ですが、明治・大正・昭和・平成・令和と家業の料理旅館を営んできました。

明治38年、名古屋方面から電機の施設工事のために来られる工事業者の宿屋がなかったため、農家の少し広い家を改装して宿泊ができるようにしたのが始まりです。

その後先々代までは兼業農家で旅館業だけだったのですが、昭和40年代ごろの先代の時には、時代のニーズで宴会をすることが多くなったため飲食店営業の許可を取り、料理旅館として飲食だけでも受けさせていただくようになりました。

その後私の代になった頃は、会館や神社の社務所などでの結婚披露宴が多くなった為、仕出し弁当の許可を保健所で取り、そちらの方を重点的に営業してきました。

私は今年度会長を務めさせていただいていますが、高山西ロータリークラブも55年が過ぎて約50人以上の会長が引き継がれて来ています。私の入会した頃は50人くらいの会員がみえましたが、今は34人です。今後引き継ぐにあたっては、高山西ロータリークラブの組織予算行事の見直しが必要と思われるのでよろしくお願ひします。



<本日のプログラム>

CLPテーブルディスカッション

先日配布させていただいたアンケートにつきまして、皆様から頂いたご意見を本日配布資料に掲載しております。そちらを参照頂きながら、本日は特に①財団補助金事業、②会長再任、③例会回数と運営方法の3つのテーマについて、先週と同じくパスト会長・会長未経験それぞれのグループに分かれて忌憚ない意見を出しあっていたきたいと思います。

ディスカッション後それぞれグループの記録者 向井さん、大村さんに発表をお願いします。



<幹事報告>

◎ガバナーより

- ・佐賀・長崎豪雨災害義援金ご協力のお礼とご報告
合計金額1,673,353円を第2740地区ガバナー事務所へ送金

◎飛騨高山国際協会より

- ・リトアニアの文化や伝統を学ぶ「リトアニア教室」の開催について①
日時 11月27日(土) 14:00~14:45
会場 高山市民文化会館 2-5会議室
参加費 無料 申込 高山市海外戦略課まで

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
24名	-	24名	34名	70.59%

パスト会長グループ意見

発表者 向井 公規



①会長再登板に関して

- ・一度経験しており、年齢的にも厳しい。
- ・副幹事から休みなく5年間続くのは、特に仕事が忙しい若い世代には厳しいので、再登板もいかしかたない。
- ・会長を再度やりたいという方が見えれば、賛同する。
- ・高山西ロータリークラブの現実と今後の存続を考えると、再登板の心持ちは必要。また会長に限らず、出来る事は行っていく必要はある。
- ・緊急的な事が生じた時も想定し(体調不良や何かしらの事故等)、会長再登板は必要であるが例外規定を設ける。

例会報告



② 財団事業に関して

- ・皆がアイデアを出し合い、行う行わないも含めてコンペ方式はどうか？
- ・事業金が多く求心力も高められるため、今後も行うべき。
- ・会員減少が続いているため、マンパワーを少なくし、効率的に効果が表れる事業とするべき。
- ・規模の縮小も視野に入れ、継続するべき。

③ 例会回数に関して

- ・今まで通りの回数で行う。主な理由として、回数減少は消滅に繋がる、意識の共有をしたい、皆の顔が見たい。
- ・WEBでの例会は賛成しかねる。
- ・年齢により考えの差が出るのでは？仕事盛りの若い人の事を考えると減らした方が良い。



会長・幹事未経験者グループ意見 発表者 大村 貴之

① 財団補助金事業について

- ・補助金事業自体の意味や目的をしつかりとしなければならない
- ・補助金があるからやるのではなく、やるべく事業のために補助金を活用する
- ・毎年、方向性が変わる為、5か年計画（中期プロジェクト）など数年間は同じメンバーがかわり計画して実行していく方がいいのではないか



② 例会回数について

- ・例会予定を手帳に記しているため、回数が変わっても予定調整は自分自身の問題であるため、あまりかわらない
- ・月4回は負担なので、月4回のうち2回はWEB会議など可能になると出張中でも参加ができる
- ・月2回でも内容が良ければ充実するのではない
- ・過去は、出席義務が厳しかったが、今は緩くなっているため負担にならない
- ・例会が減れば委員会の担当例会が減り、委員長の負担が軽くなる
- ・月2回にして会費が半額になるのであれば、会員を増やせるのではない

③ 会長について ※時間がなく皆さんの意見が聞いていません

- ・順番に回ってくると感じている
- ・数年後に重役が回ってくると思うと気が重い



<ニコニコボックス>

● 鴻野 幸泰さん、向井 公規さん

本日はCLPテーブルディスカッションです。先週に引き続きテーブルディスカッションにて、今後の高山西ロータリークラブを検討する貴重な時間になればと思いますのでよろしくお願い致します。また、来週は出前講座となります。例会開始が通常より30分早い12:00より、グリーンホテルさんで行いますので、お間違いないようよろしくお願い致します。

● 塚本 直人さん

昨日長女が衆議院選挙の投票のため帰省しました。初めての選挙の投票でした。一票の重みをどう感じたのでしょうか？本日は高山市役所との連携協定会議のため早退します。

● 伊藤 松寿さん、岡田 賛三さん、挾土 貞吉さん、斎藤 章さん、田中 武さん、米澤 久二さん、門前 庄次郎さん、垣内 秀文さん、大村 貴之さん、田中 晶洋さん、田邊 淳さん、杉山 和宏さん、堀 幸一郎さん

「和顔愛語」 明るく楽しい西ロータリーを創りましょう。ロータリーとは、己を律し、天職を高め、職業奉仕するところ、人生道場だと思います。まずは「言行一致」四つのテストに鑑み、己に厳しく、思いやりの心で天に導かれた職業をさらに高め、社員を大事にして、利他の心「三方よし」で社会に還元（税金を払い）し奉仕する所、これがロータリーだと思っています。国家国民の働き手、模範リーダーとして有言実行、頑張りましょう。その土壌を作り動かすのは政治です、政治家です。国家国民「飛騨高山」を良くしてくれるリーダーを選ぶ選挙は、終盤に入っています。声掛けをして投票に行きましょう。